

必要なこと

現代の対人援助に

新しい領域と課題の生成をめぐる

※画像はイメージです。

2023 7.7^金-10.6^金 全6回

開講方法

オンライン (Zoom)

※受講者には見逃し配信の視聴期間 (講座終了後2週間程度) を設けます。

受講対象

社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士、公認心理師、保健師、看護師、保育士など、対人援助の職にある方、
医師、弁護士、教師などの専門職の方、
ヒューマンサービスに関係する企業人やNPOで活躍する方、
こうした分野の人材育成に関係する大学教職員の方を対象にしています。

申込締切

6月7日^水 17:00まで

※上記の期日までに、こちらからお申し込みください。

受講料

6,000円^(税込)

定員

100名

申込多数の場合は抽選



講座について

生きにくい社会になりつつあるように思います。これに応答するため、人間の安寧と幸福を実現する社会課題として、実践や臨床の多様な取り組みが進みつつあります。医療、看護、教育、心理、福祉、司法など、伝統的な職域に分けられている諸分野では、多職種が連携・協働した取り組みがますます求められています。学問の次元でも、新しい領域への挑戦があります。「対人援助」として統合し、人間の可能性を探るフロントラインの知に学びます。実践・学問・臨床が交差する知の展開です。専門職者の視野を広げます。学び続ける専門職社会人の皆様、受講をお待ちしています。

第1回 2023/7/7^金 18:30-20:00

社会的養育の子どもとライフストーリーワーク

講師 徳永 祥子氏 立命館大学 衣笠総合研究機構 准教授

第2回 2023/7/28^金 18:30-20:00

治療的司法の現場から
一万引き事案を中心に、障害事案も含めて

講師 西谷 裕子氏 大阪弁護士会所属 リバティ総合法律事務所

第3回 2023/8/25^金 18:30-20:00

食と対人援助:精神疾患患者への食を通した
精神栄養学的アプローチ

講師 井戸 由美子氏 京都女子大学 家政学部 食物栄養学科 教授

第4回 2023/9/8^金 18:30-20:00

対人援助に関わる人が“受援”するとき

講師 黒瀧 安紀子氏 京都橋大学 看護学部 看護学科 准教授

第5回 2023/9/22^金 18:30-20:00

子ども・若者ケアラーの現状と支援をめぐる課題

講師 斎藤 真緒氏 立命館大学 産業社会学部 現代社会学科 教授

第6回 2023/10/6^金 18:30-20:00

多様な人々で構成する「共生社会」を
生き抜く力について

講師 ウスビ・サコ氏 京都精華大学 人間環境デザインプログラム 教授、全学研究機構長

京カレッジ会員について

お申し込み時に希望された方は、受講料のご入金確認後に京カレッジ会員証(会員費:無料)を発行いたします。京カレッジ会員の特典として、京カレッジ募集ガイドに記載されている各大学・各短期大学の図書館が利用可能となります。(利用については、各館の規程や指示に従いご利用ください)
※会員証発行にはお時間を要する場合がございます。予めご了承ください。

第1回 2023/7/7(金) 18:30-20:00

社会的養育の子どもと ライフストーリーワーク

講師 徳永 祥子氏 立命館大学 衣笠総合研究機構 准教授

本講座では、まず初めに、生まれた家族と離れて暮らす(社会的養育)子どものおかれている状況について解説した後に、特に「ライフストーリーワーク」について詳しく取り上げます。「ライフストーリーワーク」とは、離別の理由を含めた過去と現在の自分にまつわる情報を子どもが知り、等身大の自分と家族について理解した上で未来について考え、歩んでいくための支援です。

第2回 2023/7/28(金) 18:30-20:00

治療的司法の現場から 一萬引き事案を中心に、障害事案も含めて

講師 西谷 裕子氏 大阪弁護士会所属 リパティ総合法律事務所

刑事司法の現場から、「治療的司法」の取り組みをご紹介します。対人援助職の方々が一番身近に接するであろう窃盗事案について、万引きやひったくりなど軽微な類型を中心に、クレプトマニア(窃盗症)といわれる人々も含めて、どのような治療的対応をしているのかについて、ご報告したいと思います。さらに、時間に余裕があれば、窃盗罪のみに限定せず、発達障害、知的障害の方、さらに境界知能域の方に関する事案についても、ご紹介できればと考えています。

第3回 2023/8/25(金) 18:30-20:00

食と対人援助:精神疾患患者への食を通じた 精神栄養学的アプローチ

講師 井戸 由美子氏 京都女子大学 家政学部 食物栄養学科 教授

近年では食習慣と精神疾患との関連が徐々に指摘されるようになってきており、精神疾患のリスクとなる食習慣や逆に生活習慣病のリスクとなる精神疾患の病態も報告されています。栄養指導では、端的には「適量でバランスのよい食事」を目指すこととなりますが、それを個別性・多様性に対応させる為には、その科学的根拠を理解してかかわれる素地が重要となります。本講では対人援助がテーマであることを鑑み、精神栄養学的機序等に触れながらも、それを生活習慣改善に活かす為の方法やその有用性についてお話ししたいと思います。

第4回 2023/9/8(金) 18:30-20:00

対人援助に関わる人が“受援”するとき

講師 黒瀧 安紀子氏 京都橋大学 看護学部 看護学科 准教授

感染症が蔓延し、自然災害も多発し、社会情勢が安定しない中、不安を抱えている人が増えています。多様な背景を持つ人々がより健康に、よりその人らしい生活が送れるよう、多職種での支援が求められています。そして、対人援助に関わる専門職は、支援する力だけでなく、受援する力(支援を受け入れる力)も向上していくことが求められていると感じます。健康危機下での受援について、研究や経験を含めてお伝えします。

第5回 2023/9/22(金) 18:30-20:00

子ども・若者ケアラーの現状と 支援をめぐる課題

講師 斎藤 真緒氏 立命館大学 産業社会学部 現代社会学科 教授

「ヤングケアラー」は2021年流行語大賞にノミネートされました。ケアを担う子ども・若者はどのようなことを課題として感じているのでしょうか。どのような支援が必要なのでしょうか。「ブーム」となりつつある今だからこそ、あらためて、問題の「射程」と「次元」について、皆さんと一緒に考えたいと思います。

第6回 2023/10/6(金) 18:30-20:00

多様な人々で構成する「共生社会」を 生き抜く力について

講師 ウスビ・サコ氏 京都精華大学 人間環境デザインプログラム 教授、全学研究機構長

グローバル化する社会では、多様な人々が、お互いの違いを尊重しあい、深く理解しあい、個々が大切に「軸」を認めあいながら共存していくことが求められます。また、共同体から集合体へと社会基盤が変化するなか、多様な人々で構成する『共生社会』をどのように形成するのか、人々はどのようなコミュニケーションの仕方をするのか?本講義では『共生社会』をどのように生き抜くのか、皆さんと考えていきたいと思います。

申込から受講までの流れ

STEP1

右記をスマートフォンで読み取り、お申し込みください。すべての項目をご入力の上、送信ボタンを押すと、お申し込み時のメールアドレス宛に「お申し込み手続き完了メール」が自動配信されます。



お申し込みフォーム

※@google.com)のドメインからメール受信できるよう設定変更をお願いします。

STEP2

申込締切日以降(6月中旬頃)に受講可否通知をメールにてお知らせいたします。

STEP3

受講を許可された方を対象に受講料払込票(コンビニ払い)を郵送いたします。ご入金締切日までに受講料をお近くのコンビニエンスストアにてお支払いください。

STEP4

受講料の入金が確認できた方を対象に講座開始3日前(7月5日)に、事務局から参加方法等(Zoomご入室用URLを含む)を記載したご案内メールをお送りいたします。

- 期日までに支払手続きが完了していない場合は、参加の意思がないものと判断し、申込を無効とします。
- 開催中止の場合を除いて、受講料の返金はいたしかねますのでご了承ください。

■お問合せ先



公益財団法人 大学コンソーシアム京都 京カレッジ担当

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下るキャンパスプラザ京都内
TEL:075-353-9140 FAX:075-353-9121

【お問合せ受付時間】 火～土曜 9:00～17:00

<https://www.consortium.or.jp/> 京カレッジ 検索



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



主催:京都市・公益財団法人 大学コンソーシアム京都
発行:京都市総合企画局総合政策室

京都市印刷物 第044847号 令和5年2月

※この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ